

IBM Power用 IBM AIX オペレーティング・システム

安全、拡張可能で、堅牢な、オープン・スタンダードに基づくUNIXオペレーティング・システムで、ワークロードをモダナイズ

■ 特長

ワークロードに対する柔軟な拡張性と改善されたLive Update機能を活用

基幹となるワークロードの周辺に新しい機能を開発

ハイブリッドクラウドまたはパブリッククラウドのAIXワークロード向け災害復旧保護を強化

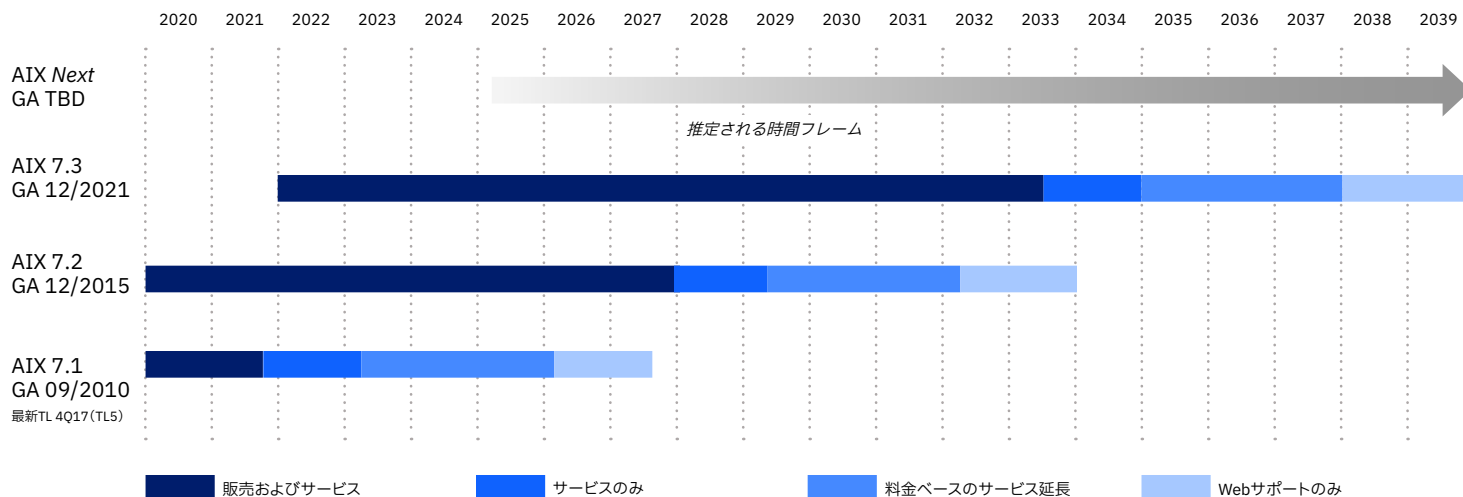
AIの性能を利用し、新しい洞察を獲得

現代のビジネスには、融通の利く計算能力、柔軟なITインフラストラクチャー、途切れない可用性とセキュリティが重要です。企業が変化の激しい市場環境に対応し、成長のために事業を変革するとき、頼れるオペレーティング・システムが必要になります。企業がモダナイゼーションに取り組み続ける間、新しい技術に順応し橋渡しする柔軟性と能力を備えた、信頼できる土台が必要なことは明らかです。

IBM® Power® Systemsの長所の一つは、IBM AIX®、IBM i、Linux®ソフトウェアを横断してさまざまな作業を同時に実行できる能力であり、これは整理統合のために重要です。

IBM Powerは、SAP HANA、IBM Cloud® PrivateやRed Hat® OpenShift®のようなコンテナ化されたクラウド・ネイティブ・ソリューション、さらには画期的なAIアプリケーションなど、従来の企業のワークロードを新しいエコシステムに移行する重要な橋渡しを行い、そのいずれも中核的な業務に必要な基幹アプリケーションと並行して実行されます。

AIXロードマップ



IBMの今後の方向性や意図に関する記述は、目標および指向に過ぎず、予告なく変更されたり取り消されたりする可能性があります。

図1 AIXの将来世代のサポート予定表

ワークロードに対する柔軟な拡張性と改善されたLive Update機能を活用

AIXは、多くの中核的なビジネス・アプリケーションとデータベース環境の基礎です。IBM AIXオペレーティング・システムは、豊富な新しいハイブリッド・マルチクラウドとオープンソース機能を継続的に導入するために進化する、基幹業務の計算の土台です。AIXの顧客は、ワークロードに対する柔軟な拡張性、Ansible®を使用し改善されたクラウド・オートメーション、強化されたセキュリティー、柔軟なライセンス交付モデル、300を超えるオープン・ソース・パッケージを活用できます。IBM Power Systemsは、性能、スケール、レジリエンシーに関する主要な機能についてだけでなく、イノベーションやモダナイゼーションについても、さらなる改善を目指すAIXのリリース・ロードマップの提供に引き続き取り組んでいきます。

AIX 7.3は最新のAIXリリースです。これまでの優れた機能に加え、性能、スケール、可用性、セキュリティーをさらに改善する新機能を搭載。すべて、アプリケーション・バイナリーの互換性を維持しているため、これまでのITへの投資を無駄にしません。AIX 7.3は、IBM Power10®プロセッサ搭載Power Systemsと組み合わせることで、変化するビジネスの需要への適応を意図して設計された、最適化され回復力のある計算プラットフォームを提供します。

AIX 7.3は、AIX 6とAIX 5Lを含む、以前のバージョンのAIXオペレーティング・システムとバイナリー互換性があります。AIXの以前のバージョンで動作するアプリケーションをAIX 7.3でも引き続き使用できるため、クライアントのこれまでの投資を無駄にしません。

AIXにはいくつか独自の機能があります。例えばAIX 7.2 (TL0)と共に導入されたAIX Live Kernel Updateは、再起動を要求されることなく、暫定修正の一般的な適用と起動が可能です。AIX 7.2 (TL1)は、サービスパックと新しいTLで、再起動しなくても変更を有効化できるAIXカーネルのライブ・アップデートのサポートを追加しています。

Powerプロセッサ互換モード向けAIXサポート

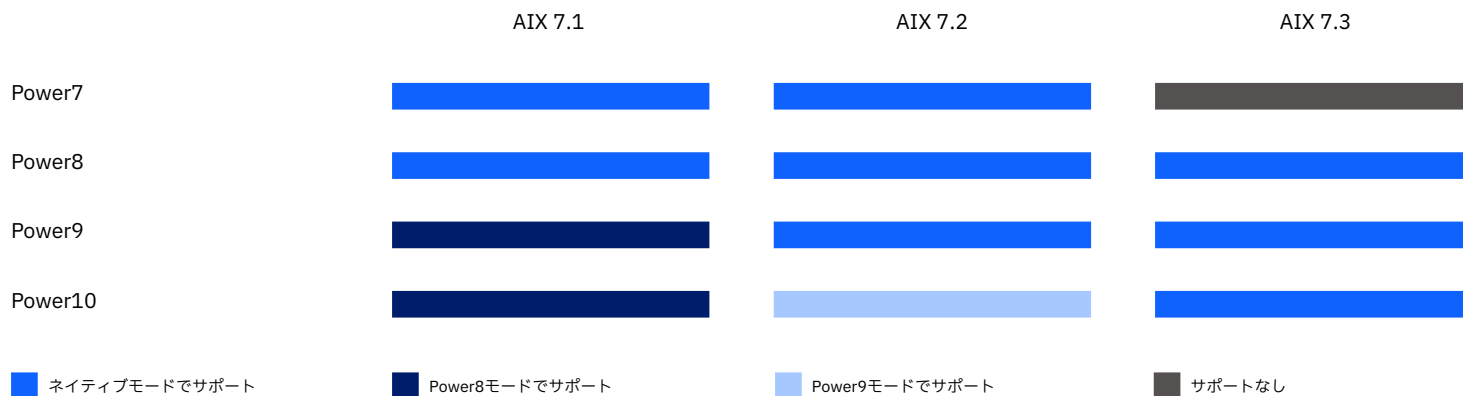


図2 Powerプロセッサ互換モードに利用可能なAIXサポートの概要

AIX Live Updateの機能強化を継続して行い、新しいユースケースをサポートして、クライアントが広く適用し使用できるようにします。これには、PowerVCで管理されるランドスケープのライブ・アップデートをサポートする機能強化や、CPUとメモリー・リソースの管理のためのPower Enterprise Poolシステムの使用を自動化する機能強化が含まれます。LPARのフレームにLive Updateのために使用できる十分なリソースがない場合、クライアントはPowerVC環境のLive Partition Mobility (LPM)を利用して更新するか、システムにCPUリソースの削減を許可して操作を完了することができます。

基幹となるワークロードの周辺に新しい機能を開発

AIX Toolbox for Open Source Softwareには、IBM Power Systemsのために作られた複数のオープンソース・ソフトウェアが含まれます。このソフトウェアは、多くのアプリケーション開発者から一般的に好まれる開発環境の基礎を提供し、クライアントが他のプラットフォームで管理するのと同じようにAIXおよびPower環境を実行可能にします。すべてのツールが、インストールしやすいRPM形式でパッケージされています。ソフトウェアは、共通のオープンソース・ミドルウェアと言語を提供して、クライアントが基幹アプリケーション周辺の機能を開発するのを支援します。

AIXは、PowerVCを使用し、5,000を超えるクライアントがITインフラストラクチャーをプライベートなオンプレミス・クラウドへと変換するのを支援してきました。PowerVCはハイブリッドクラウドの機能性を提供し、AIX VM、およびDevOps環境用のSANを持たないクラウドを立ち上げ可能にするソフトウェア定義されたインフラストラクチャー機能を、クラウド間で簡単にインポートおよびエクスポートできるようにしています。

現在AIXは、IBM Power Systems Virtual Serverから、IBM Cloud内のPower10 Systemsにアクセスして使用できます。基幹データベースのサポートにあたり、AIXはいつもお客様から信頼をお寄せいただいています。現在は、さらに大きなワークロード拡張性、向上したクラウド自動化、強化されたセキュリティー、フレキシブルなライセンス交付モデルも利用できます。リファクタリングや書き換えを行うことなく、AIXワークロードをハイブリッドクラウドまたはパブリッククラウド環境で実行することもできます。

ハイブリッドクラウドまたはパブリッククラウドのAIXワークロード向け災害復旧保護を強化

データセンターの復旧とサービス利用可能性は、ITインフラストラクチャーの最も重要なテーマの一つです。自然災害が通常業務に影響するだけでなく、人的ミスやテロリストの行為も業務継続性に影響します。十分な冗長性を備えたインフラストラクチャーであっても、サービスは災害に対して脆弱です。装置は災害の範囲によっては損傷を受ける場合があり、データの回復には適していません。バックアップによる復元は、ビジネスの要件を満たすには時間がかかり過ぎる可能性があるため、ビジネスの中断を最小限に抑えるには、サイト間のデータのレプリケーションが良い対処方法と言えます。可用性の高いソフトウェアは、インフラストラクチャーのさまざまな要素で故障が検出されたときに復旧対応を自動化することにより、サービスのダウンタイムを最小化することを意図しています。

IBM PowerHA® for AIXは、最高の高可用性を備えた災害復旧ソリューションです。長年の継続的な機能強化により、計画停電にも予期せぬ停電にも対応した、基幹業務に最適なソリューションになっています。PowerHAは計画停電と予期せぬ停電の影響を最小限に抑え、HA管理を単純化し、複数サイトのソリューションを提供し、運用費を最小限にします。Power HAおよびVM Recovery Managerは、AIXの高可用性および災害復旧に関するクライアントの懸念に対処するソリューションを提供します。

AIXでAIの機能を活用し新しい洞察を獲得

AIXのワークロードは、当然AIのソースになります。これらのシステムは、顧客行動と取引情報に関する大量の高品質データをホストしており、AIの開発にさらに活用できる可能性もあります。クライアントが、同じプラットフォームで履歴データと機械学習や深層学習などの新興技術を組み合わせ、その間すべてのソースと訓練されたシステムを適切に使用することにより、新しい洞察が得られます。

まとめ

AIXは、30年以上にわたり、最も重要なアプリケーションを実行するシステムとして、組織に信頼されています。技術が進化し続ける中、AIXは、企業が安全で回復力のある環境で現代的アプリケーションを構築し展開しながら、ハイブリッドクラウドとオープンソース機能でイノベーションの推進を支援し続けます。

企業は、変化するビジネスの需要を満たすため、安全で可用性が高く、順応性のあるインフラストラクチャーを必要としています。AIXは、基幹データにとって必要な性能、信頼性、安全性により、これらの機能に加えその他の機能も提供します。

詳細情報

IBM AIXについての詳細は、IBMの担当者またはIBMビジネス・パートナーにご連絡いただくか、または ibm.com/jp-ja/it-infrastructure/power/os/aix をご覧ください。

© Copyright IBM Corporation 2022

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19-21

米国で制作
2022年6月

IBM、IBMのロゴ、AIX、IBM Business Partner、IBM Cloud、IBM Power、IBM Power Systems、Power10、PowerHAは、米国および/またはその他の国におけるInternational Business Machines Corporationの商標または登録商標です。その他の製品名およびサービス名は、IBMまたは他社の商標である可能性があります。IBMの最新商標リストについては、ibm.com/trademarkをご覧ください。

Linux という登録商標は、世界的な商標権者であるLinus Torvalds氏の独占的ライセンスであるLinux Foundationからのサブライセンスに基づき使用されています。

Ansible、Red Hat、およびOpenShiftは、Red Hat, Inc.またはその子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIXは、The Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

